



駒岡小学校だより

5月号

駒岡の宝物

校長 松本 稔

平成28年度がスタートして、1か月が経ち、おかげさまで、それぞれの学年、学級、クラブや委員会、特設クラブなどの様々な活動が本格的に始まりました。順調な滑り出しであると感じています。

子ども達には、機会があるごとに『駒岡の宝物』についてお話をしています。

『駒岡の宝物』とは、「目と耳と心で人のお話を聞くことができること」「何事にも一生懸命取り組むことができること」ができる667名の子ども達です。駒岡小学校の子ども達は、朝会や集会等、全校が集まった時など、本当に静かに話を聞き、一生懸命にそして真剣に活動することができる子ども達ばかりです。



先日行われた今年度初めての避難訓練でも、子ども達の私語は全く聞こえず、整然とした避難をすることができました。地震を想定した訓練であったので、今なお余震が続いている熊本を中心とした大地震が子ども達の気持ちにも緊張感を与えているのではないのでしょうか。

被災された多くの方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

入学式には新1年生に、1年生がまだ参加していない最初の朝会では2年生以上の児童へ『駒岡の宝物』につながる『元気』についてお話をいたしました。

大人向けの同義語としては『健康・健全』とも言い換えることができます。

『心身ともに健全』を意識して、こんな内容のお話を子ども達にいたしました。

毎日、学校に 「元気」 をもってきてください。

元気だと、 自分から挨拶ができます。

元気だと、 よい返事ができます。

元気だと 外で、思いっきり楽しく遊ぶことができます。

元気だと 自分から進んで学習やいろいろな活動ができます。

以下は2年生以上に付けくわえてお話をしました。

元気だと 友達にやさしくできます。

元気だと 少しくらい辛いことでも我慢ができます。

元気だと 友達と仲良くできます。

2年生以上の皆さんは元気な姿を1年生にお手本を示してあげてください。

駒岡の宝物がいつも輝いているためには、心身ともに「元気」が必要条件です。

「心身ともに健全な育成」は教育の永遠テーマでもあり、親御さんのお子さんの成長への真の願いでもあります。

心身ともに元気なことはとても大切だとは分かっていても、具体的にどのように実現させるか、何からはじめたらよいか、なかなか難しいのではないのでしょうか。

老婆心ながら、早寝早起き朝ごはんを含め、日々のお子さんの様子をご覧いただき、元気よく笑顔で学校へ送り出し、帰ってきたお子さんのお話をしっかり聞いていただけたらと思います。

学校でも児童と正面から向き合い、児童の目線に立った指導を進めていきたいと考えます。

今年度もよろしくお願ひいたします。